

2013 あがまち 風景賞

この賞は、桐生市の個性あるまち風景を形成している建造物や空間等のうち、特に良質な風景を創出しているものを表彰し、まちなみの保存と活用、ならびに市民の都市風景に対する意識の高揚に寄与することを目指すもの。13回目となる今年も5件の案件が選出された。



ショコラ・ノア

所在地／桐生市巴町1 所有者／鶴巻稔久

レストラン「ショコラ・ノア」は、平成20年(2008)11月に菱町2丁目にあった店舗を現在の巴町1丁目に移転し開店した。連日多くのお客で賑わう欧風料理と創作デザートの名店であると同時に、古民家を新たな形にリノベーションした好事例でもある。店舗に改築した建物は、「堀マラソン」で知られる堀祐平氏が昭和2年(1927)に建てた築86年の和洋折衷住宅。



青木家住宅

所在地／桐生市梅田町1 所有者／青木りさ

梅田町一丁目、桐生川に沿って広大な敷地の中に建つ青木家住宅は、桐生産地における近代的マニファクチュアの先駆とされる「成愛社」ゆかりの建物である。基本的には和風の建物であるが、北側に洋室があり、宮本町に点在する和洋折衷住宅をさらに大型にした形である。



旧小武織物

所在地／桐生市広沢町5 所有者／小林重夫

丸石が積み上げられた石垣と板塀で囲まれた5連の切妻造が建ち並び、迫力ある景観を形成しているのが、旧小武織物の建造物群である。小武織物は、小林武一郎氏が昭和10年(1935)に創業、同34年(1959)に小武織物有限会社を設立した。主に、袋帯を生産した。敷地内には、主屋、木造平屋の工場、従業員宿舍などが均整のとれた形態で残っている。



金子家住宅

所在地／桐生市東久方町2 所有者／金子宗吉

金子家住宅は、主屋、それに隣接するノコギリ屋根3連工場、蔵、従業員宿舍が一つの敷地に美しい形で納まっている。平成6年(1994)主屋は柱と梁のみを残し古民家再生の技術により大改修された。金子織物は、明治元年金子徳三郎氏により創業された。同社の特殊技術を多用した婦人服地は高い評価を得ている。



沢入観音堂と関口文治郎ゆかりの地

所在地／桐生市黒保根町上田沢沢入

黒保根町上田沢の沢入地区は、国道122号線沿いの水沼交差点から県道257号根利八木原大間々線に入り、田沢川の支流、沢入川を遡った小集落である。沢入地区のシンボルとなっているのが集落中央高台に建てられている「沢入観音堂」。また、沢入は「上州の左甚五郎」と称された、稀代の彫物師関口文治郎の生まれた地でもある。